



事実などない。あるのは解釈のみ。

今日はまた別のあるお家の方から、クラスの子たちの成長について温かい言葉をかけてもらいました。

特に、この Venture fourth を大切に読んでくださっていることがその方の言葉の端々から伝わり、本当に嬉しい気持ちになったところです。

クラスの様子や、子どもたちの成長が、通信の内容からしっかりと伝わってくるのだそうです。

そして、「毎日本当にありがとうございます」と通信作成への労いの言葉までかけていただき、大いに励まされ、奮い立ったところです。

直接伝えて貰えたり、メールを送って貰ったり、お手紙で感想が届いたり。一つ一つのリアクションに、たくさんの喜びをもらっています。

こちらこそ、いつも本当にありがとうございます。

さてさて、昨日も朝からとてもいいことがたくさんありました。

正確に言うと「いいこと」ではないのかもしれませんが。

その当人たちにとっては。

そもそも「良い」「悪い」を決めるのは、すべて人間の心です。

かの有名な哲学者・ニーチェも次のように言いました。

事実などない。

あるのは解釈のみである。

そういう意味でいうと、本当に「よい」ことは存在しません。

同じように、本当に「悪い」ことも存在しません。

その良い悪いを決めているのは、どこまでいっても自分の心です。

ですから、存在するのは常に「解釈のみ」なのです。

そういう前置きを含んだ上で昨日の朝の「いい話」を聞いてください。(もちろん、登場する子には掲載の許可を取ってあります。)

朝一番に、ある子が私の所にこんな話を伝えに来ました。

「先生、俺この前メンタル崩れちゃってさ。」

一体何のことかと思いましたが、どうやら自分にとって嫌なことがあったそうで、そのことでモヤモヤした思いを抱えていたとのことでした。

私は、それをふんふんとうなずきながら聞きました。

そして、ものの2, 3分で話は終了。

その子は自分の席へと戻って行きました。

ただ、それだけです。

「これのどこがいい話なのか」と思った方もあるかもしれません。

でも、間違いなく私にはとてもいい話でした。

確かに、特筆するような場面ではないかもしれませんが。

けれども、こうした何気ない日常場面こそ、巨大な変化や成長が眠っていることが多いのです。

まず、その子は同じように嫌なことがあった時は、もっと引きずったり、大きく傷ついたりしていたという以前の姿がありました。

これは、一つのストーリーです。

序章があって本章がある、というように以前の姿があるからこそ「成長」や「変化」がハッキリと感じられるわけですね。

さらには、「メンタル崩れちゃってさ」と言ったときのその子の表情です。

「さっき、そこで転んじゃってさ」と言いに来るような感じで、なんと笑いながら話していたのです。

そこには、暗さや後ろ向きな感じは一切ありませんでした。

本当に、いつものように会話を楽しむ雰囲気です。「崩れちゃってさ」と話しかけてきたのです。

ふんふん、と聞きながら内心私は大いに驚きました。

そして、聞きながら次のように相槌を打ちました。

「詳しく話聞こうか？」と。

すると、その子は

「いや、それは大丈夫。」

と再び笑顔ではにかみながら言ったのです。

そして、自分の席へと戻って行きました。

爽やかな秋晴れの日でしたが、私にとっては朝一番から落雷に打たれたよ

うな衝撃を覚えた出来事でした。

以前とは別人かと思うくらいの「しなやかな心の強さ」を感じる出来事だったからです。

思い通りにいかないことは、人生で幾度も起きます。

むしろ思い通りにいくよりも、いかないことの方がずっと多いでしょう。

そうした場面にどのように向き合い、対処していくかというのは、長い人生における永遠のテーマの一つでもあります。

そして、その子の「向き合い方」が明らかに大きく変化したことが分かった瞬間が昨日の朝の会話シーンだったということです。

嫌なことがあった自分、モヤモヤした自分を、どこか客観的にすら見て、「こんなことがあってさ」と私に笑顔で話せる。(専門的な言葉でいうと、「当事者研究」という内容に非常に近いものだと思いました。それを教わずに自然と行えているからこそさらに驚いたのでした。)

そして、「大丈夫。先生に力を借りなくてもちゃんと自分で乗り越えられるから。」と言わんばかりに颯爽と自分の席に戻っていったわけです。

ものの数分のささやかな出来事でしたが、私は大きな感動を覚えました。

このような出来事が、昨日の朝、立て続けに起こったのです。

おそらく、他の人が見れば、なんとも思わないような場面ばかりだったと思います。

でも、私の目にはその大きな変化や確かな成長が飛び込んでくるのです。

そして、それらは「勉強ができる」や「運動ができる」などよりも、ずっとずっと大きな価値を持つものばかりでした。

先にも書いた通り、「自分の思い通りにいかないことにどう向き合うか」というような普遍的な内容ばかりだったからです。

テストの点や作品の質など「見える世界」も大切ですが、心のしなやかさや粘り強さなど「見えない世界」はもっと大切なのだと改めて思いました。

子どもたちの数々の成長の足跡、また Venture fourth で引き続きお伝えしていきたいと思います。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

